

原子力リスク研究センター（NRRC） 第8回 技術会議 議事録

1. 日 時：2015年11月25日（水）10：20～12：00
2. 場 所：電力中央研究所 我孫子地区南別館 3E 会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）
主査：横尾（NRRC）
委員：榎（北海道電力）、滝澤（東北電力、増子代理）、川村（東京電力）、
名倉・増田・仲村（中部電力、鈴木代理）、米原（北陸電力、高橋代理）、鈴木（関西電力）、岩崎（中国電力）、川西（四国電力）、
岡野（九州電力）、石坂（日本原電）、大柿（日本原燃）、静間（電源開発）、野田（東芝）、今野（日立 GE）、河野（三菱重工）、倉田（原安進）、示野・座間・酒井・植田・金谷（NRRC）

NRRC 幹部：横山所長代理

オブザーバ参加：尾野・浦田（電事連）

4. 議事概要（◆産業界委員）

(1) 2016年度研究開発計画について

横尾主査、座間・酒井研究コーディネータより、2016年度の研究計画等について説明を行った。また、研究トピックスとして、「使用済燃料貯蔵プールにおける重大事故時の燃料冷却特性と臨界可能性の評価」について紹介し、委員との間で技術的な意見交換を行った。

(2) NRRC の活動状況について

示野委員より、技術諮問委員会の開催結果及びレター報告書について報告がなされた。

（主なコメントは以下の通り）

- ◆技術諮問委員との伊方プロジェクトに関する議論の中で新たに指摘された 5 つの研究項目は、よい指摘だと思う。是非、研究を進めて頂ければと思うが、実施のタイミングについては、既存の研究計画と整合するように調整できると良い。
- ◆技術諮問委員会の指摘は良いものだと思うが、優先順位をつけてどのようにリソースを投入していくか、我々の間でも議論をしていく必要がある。
- ◆伊方プロジェクトの成果を PWR と BWR の共通の知見として各社で展開していくことが今後必要になってくる。電事連の PRA 活用推進タスクチームでも議論を進めている。

以 上